

# 令和7年度第1回甲府市環境審議会議事録

1. 開催日時 令和7年8月26日(火) 午後2時～

2. 開催場所 甲府市環境センター 3階 大会議室

## 3. 出席者

(委員)

会長：丸山正次 (山梨学院大学 名誉教授)  
委員：渡邊文昭 (山梨県森林環境部 森林環境政策課長)  
柿嶋敦 (甲府市農業委員会 会長)  
清水聡子 ((株)山梨県環境科学検査センター 技術部 検査課 課長補佐)  
小澤一昭 (山梨環境カウンセラー協会 会員)  
勝岡伸圭 (甲府商工会議所 議員)  
萩原亮 ((一社)甲府青年会議所 理事長)  
清水健治 (甲府市自治会連合会 理事)  
山田千恵美 (甲府市男女共同参画推進委員会 委員)  
酒井大介 (甲府市消費者問題懇話会 委員)  
小林成光 (甲府市工業協会 会長)  
功刀敏男 (甲府市ボランティア団体連絡協議会 会長)  
欠席者：森一博 (山梨大学大学院 総合研究部 教授)  
窪田清 (日本労働組合総連合会 山梨県連合会 会長)  
川崎靖 (甲府商店街連盟 会長)  
米山敏彦 (中央森林組合 代表理事組合長)  
米山弘祐 (甲府市小中学校PTA連合会 常任理事)

(事務局)

田中環境部長、平岡環境総室長、田中環境政策課長、武内ごみ収集課長、臼井環境保全課長、奥野環境政策課環境政策係課長補佐、山田環境保全課公害対策係課長補佐、樋口環境政策課温暖化対策係主任、鈴木環境政策課環境政策係主事

## 4. 配布資料

資料1 第三次甲府市環境基本計画 年次報告書(令和6年度分)  
資料2 第三次甲府市環境基本計画 取組方針の点検結果(令和6年度分)

## 5. 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 職員紹介
- 4 議事
  - (1) 「第三次甲府市環境基本計画」令和6年度年次報告について
  - (2) その他
- 5 閉会

## 6. 議事要旨

事務局	(1)「第三次甲府市環境基本計画」令和6年度年次報告について 第三次甲府市環境基本計画令和6年度年次報告について説明を行った。
委員	個別目標 1-2「多様な生態系の保全」取組方針「特定外来生物に関する情報発信」について、ホームページにてセアカゴケグモ、ハイイロゴケグモについて注意喚起したとあるが、それ以外の外来種も甲府市に侵入している。外来種の駆除等の対策をどのように進めていくか。 個別目標 1-3「自然環境を活用した防災・減災」取組方針「自然の機能を活用した防災・減災の推進」について、グリーンインフラという考えが盛んになってきているが、甲府市ではどのようなグリーンインフラを検討しているか伺いたい。
事務局	特定外来生物に関する情報発信について、ホームページの項目を増やすことを検討しており、写真の調整等が済み次第、公開する。また、オオキンケイギクが一部の河川等で増えているため、来年度に向けて駆除のキャンペーンの実施等を検討していく。 グリーンインフラについて、水源林の環境保全につながるミズナラの植樹などを行っている。
委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」個別目標「公共交通機関の利用促進」について、サイクル・アンド・ライド事業について記載されているが、レンタルサイクル事業を行い、借りた場所以外でも返却できるサービスを提供できれば利便性が高いと考えているので検討していただきたい。

事務局	本市では、令和7年4月から、こうふ亀屋座でレンタサイクル事業を開始している。自転車はこうふ亀屋座へ返却する必要があるので、利便性を高めることが今後の課題と考えている。
委員	個別目標 2-2「快適な生活環境の確保」取組方針「良好な景観の保全」について、甲府市屋外広告物条例に違反した広告には最終的にどういった措置が取られるか。
事務局	甲府市屋外広告物条例では、1年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処することとなっている。この場では実際の運用について詳細な回答ができないため、担当課に確認の上で改めて回答する。
委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「公共施設における再生可能エネルギー利活用の検討」について、学校施設への太陽光発電設備の導入に向けた検討を行ったとあるが、検討結果はどうか。
事務局	学校施設への太陽光発電設備の設置について、令和6年度は山城小学校に設置し、令和7年度は中道北小学校に設置予定となっている。また、その他の公共施設についても、大規模改修や新築などの際には太陽光発電設備の設置が可能か、有益か検討を行っており、令和7年度は環境センター及び市立動物園の管理棟にも設置予定となっている。
委員	ペロブスカイト太陽電池の導入等について、検討状況を伺いたい。
事務局	ペロブスカイト太陽電池は非常に有用性が高いと認識しており、情報収集を行っている。現在は各地で実証実験を行っている段階であるため、一般販売されるようになったら導入を検討する。
委員	個別目標 1-1「自然環境の保全」取組方針「農業の担い手の確保」について、新規認定農業者が13人だった一方、離農等により認定農業者ではなくなった方が12人だったため、差し引き1人増とのことだが、農家に離農の予定を確認するなど、今後の増減の傾向を調べて対応しているか。
事務局	担当課に意見があったことを伝え、今後の取組の参考とさせていただく。

委員	個別目標 4-1「3R+Renewable の推進」の取組方針で、ごみの削減量等が記載されているが、削減したことにより節約できた税金の額などを示した方が住民のごみ減量意識が高まるのではないかと。
事務局	他市と共同でごみ処理を行っており、処分場の運営は各市の負担金を用いて行っている。負担金はごみ処理量だけではなく各市の人口等によって変動するため、ごみ排出量の削減により節約できた税金の額をお示しすることができない。ごみの削減による効果を市民に伝えることは重要であると認識しているため、周知方法を考えていきたい。
委員	個別目標 4-1「3R+Renewable の推進」取組方針「有価物・資源物の回収の推進」について、少子高齢化、住民の減少、回収業者の減少により自治会での有価物回収が困難になっている。自治会での自主回収について危惧しているが、市はどのように考えているか。
事務局	有価物回収に協力いただける自治会が減少傾向にあることは市でも認識している。市では、これまで資源物ステーションの設置や、9月からは、リチウムイオン電池の回収等を行う。市民の皆様にも引き続きご協力いただくとともに、資源物の行政回収等も活用いただきたいと考えている。
委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「リニア駅前における「近未来社会をけん引する先導的エリア」づくり」について、リニア駅と既存の公共交通のアクセスを改善することで県外からの観光客等の利便性も高まると思うので検討いただきたい。
事務局	リニア駅周辺の駐車場、公共交通の整備について、山梨県と検討を重ねている。担当課に意見を共有し、県との協議に役立てる。
委員	年次報告書では取組の結果のみ記載されているが、目標を達成できなかった取組は、結果を踏まえて今後どのような施策を行うか報告いただけると、委員もこれからの動向を判断できると思うが、いかがか。
事務局	目標を達成できなかった理由、今後どうすれば目標を達成できると考えているか、皆様に報告して意見をいただくことが良い議論につながるかと考えているので、来年への課題として対応させていただく。

委員	<p>個別目標 4-2「廃棄物の適正処理の推進」取組方針「資源物の持ち去り行為の抑制」について、巡回・パトロールの日数を目標値としているが、巡回・パトロールを行うにはマンパワーが必要になり人件費もかかってしまうので、持ち去り行為を判別できるA Iを搭載した監視カメラの設置など、自動化する方向で検討したほうが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>目標値は巡回・パトロールの日数としているが、その目的は持ち去り行為を抑止することにある。集積場に監視カメラを設置し持ち去り行為の抑止につながった例もあるため、引き続き持ち去り行為の抑止に努めていく。</p>
事務局	<p>(2) その他 今後の予定等について説明を行った。</p>